

2017 年度
助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベルⅢ認証申請に必要な
研修の承認に関する手続きについて

(2017 年 5 月更新)

2017 年度に実施予定の助産実践能力習熟段階 (クリニカルラダー) ® (以下 CLoCMiP® レベルⅢの認証申請に必要な必須研修およびステップアップ研修については、研修内容の標準化を図ることを目的に、日本助産評価機構が研修の承認を行います。

CLoCMiP® レベルⅢの認証申請に必要な研修について、下記の要件を満たした研修には「**研修承認番号**」を付与します。

1. 研修を開催することのできる団体及び医療機関

- 1) 日本助産実践能力推進協議会が主催するもの
- 2) 日本看護協会、日本助産師会、全国助産師教育協議会、日本助産学会のいずれかが主催するもの
- 3) 都道府県看護協会、都道府県助産師会のいずれかが主催するもの
- 4) 日本助産評価機構が指定した助産教育機関、学会ならびに医療機関 (総合周産期母子医療センター) が実施するもの
- 5) 日本助産評価機構の賛助会員である企業や団体が主催するもの

2. 手続きの条件

- 1) 研修会開催責任者は開催 **6 か月前**までに日本助産評価機構に申し出て、事前申請書を提出してください。ただし、2017 年 9 月までに開催する研修については、この限りではありません。随時、事前申請書類を提出してください。
- 2) 開催日ごとに、1 研修 (1 テーマ) を申請してください。
- 3) 日本助産評価機構の賛助会員である企業や団体が主催する研修については、研修認定料と研修参加費について規定があります。個人認証ウェブページの「企業の研修企画担当者様へ」を確認してください。

3. 審査基準 (研修要件)

- 1) 内 容 : プログラムの内容が助産実践能力に必要な知識と実践に関することである
- 2) 主 な 対 象 : 助産師を対象とした内容である
- 3) 講 師 : 研修内容に適した講師である
- 4) 研 修 時 間 : 90 分以上の時間である
- 5) 確認テスト : 研修前に確認テストを行い、研修後に同じ内容のテストを実施して知識の定着が確認できるように計画されている

4. 研修要件

助産師の倫理的感応力・マタニティケア能力・専門的自律能力を育成する研修です。研修対象者は、主に助産師ですので、助産師向けの内容としてください。

1) 研修テーマは以下の通りです。ステップアップ研修と必須研修があります。

【ステップアップ研修】

- ・ ①出血時の対応に関する研修（常位胎盤早期剥離）
- ・ ②倫理に関連した研修
- ・ ③助産師および後輩教育等に関連した研修
- ・ ④学術集会への参加および発表*

*詳細は申請要項に記載します。

【必須研修】

- ・ ①新生児蘇生法（NCP） B コース以上（※申請は不要です）
 - ・ ②分娩期の胎児心拍数陣痛図（CTG）に関する研修
 - ・ ③フィジカルアセスメント：妊娠期
 - ・ ④フィジカルアセスメント：神経
 - ・ ⑤フィジカルアセスメント：呼吸・循環
 - ・ ⑥フィジカルアセスメント：代謝
 - ・ ⑦フィジカルアセスメント：新生児
 - ・ ⑧子宮収縮剤の使用と管理
 - ・ ⑨助産記録
 - ・ ⑩妊娠から授乳期における栄養
 - ・ ⑪周産期のメンタルヘルス*
- *2017年度は日本助産実践能力推進協議会主催のオンデマンドのみ承認研修とします
- ・ ⑫母体感染のリスクと対応

2) 研修時間について

1研修は、1つのテーマにつき90分以上となるように企画してください。

3) 講師について

1つのテーマを複数の講師が担当する場合も要件を満たしているとみなします。

4) 確認テストについて

確認テストの出題数は10問とします。

研修開始時に、知識の確認テストを実施し、研修終了時に、再度、同じ問題で確認テストを実施してください。

テスト問題は、講義内容から作成し、講義内容の理解を促進してください。

テストは、受講者の自己確認を目的としますので、主催者が採点する必要はありません。

5) 研修修了証について

研修の修了証は、1テーマにつき、1枚発行してください。

修了証には、日本助産評価機構が付与した「研修承認番号」を記載してください。研修修了証のサンプルが、個人認証ウェブサイトにあります。参照してください。

5. 手続きの手順

【研修の認定申請から実施までの流れ】



1) 事前申請書の提出

- (1) 日本助産評価機構の助産師個人認証ウェブサイト（以下 個人認証ウェブサイト）から事前申請書をダウンロードしてください。

■Form1 事前申請書

- (2) 事前申請書にプログラムに関する必要事項を記入し、日本助産評価機構 個人認証事務局 clocmip3@josan-hyoka.jp へ E-mail に添付して送信してください。

※事前申請書は、1 研修（テーマ）ごとに提出してください。

2) 日本助産評価機構から申請書の承認

- (1) 日本助産評価機構事務局より、研修が CLoCMiP®レベルⅢ認証申請の要件を満たすと認められた場合に、「研修承認番号」を発行し、メールでお知らせします。
- (2) 研修を主催する企業（賛助会員）は、承認を受けた後、期限内に研修認定料を指定口座にお振込みください。入金確認後に「研修承認番号」をお知らせします。

3) 承認された研修の情報は、個人認証ウェブサイトに掲載します。

4) 承認した研修の実施

- (1) プログラムの承認を受けた研修は、それぞれのプログラムに「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）として承認された研修」であることを表示してください。
- (2) 承認前に、許可無く、「申請中」あるいは「承認予定」等の表示は行わないでください。

5) 研修実施の報告

- (1) 研修実施後は、速やかに研修実施報告書および修了証発行リストを事務局に提出してください。書式は個人認証ウェブサイトからダウンロードしてください。

■Form2：実施報告書

- (2) 修了証発行リストには、本人確認のため受講者の氏名と生年月日もしくは助産師免許証番号を記入してください。

■Form3：修了証発行リスト

(3) 実施報告書および修了証発行リストの提出方法

- ① データでの提出：メールにファイルを添付し、clocmip3@josan-hyoka.jp宛に送信してください。ファイルには必ず、パスワードを設定してください。
- ② 郵送での提出：追跡可能な方法（簡易書留、レターパック、等）で下記住所まで送りください。

<送付先住所>

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-3 矢島ビル 8F

一般財団法人 日本助産評価機構 個人認証事務局 宛

※修了証発行リストは助産師個人認証の手続きにのみ使用し、第三者に提供することはありません。

※修了証発行リストは、5年間保存した後に破棄します。

6. 研修企画の参考書籍

CLoCMiP®レベルⅢの認証申請に関連した研修を企画する際には、以下の書籍を参考にしてください。

研修目的、研修目標などの例も示しています。



日本助産実践能力推進協議会編
『助産実践能力習熟段階（臨床ラダー）にもとづいた
助産実践能力育成のための教育プログラム』
2015年3月：医学書院

連絡先

一般財団法人 日本助産評価機構 個人認証事務局

〒104-0061 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル8F

E-mail : clocmip3@josan-hyoka.jp